



竹王

会報 2020 No.31

東京府立第二高等学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会

特集 さあ、還暦だ!集まれ!遊ぼう!78回生

2020年度篁会総会について
第2回ホームカミングデーレポート
さあ、還暦だ!集まれ!遊ぼう! 78期生
部活動OB・OG会紹介
特別セミナー・先輩の職場を訪ねて
篁寿会・シニア会・校歌祭

p.2 竹早祭参加・湘南篁会
p.3 奨学生認証式・竹早生の進路等
p.4 篁会理事会報告
p.7 創立120周年行事について
p.8 篁会新ホームページ
p.10 特別寄付のお願い

p.11
p.12
p.13
p.14
p.15
p.16

120

years since 1900



2020 年度箠会総会の開催について

箠会会員の皆様、日頃より箠会活動に多大なるご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。箠会では、昨年までに誕生いたしました沢山の若手理事の積極的な参画が、従来のベテラン理事と相乗効果を発揮し、様々な新しい施策を生み出しております。その最大の施策こそ、母校である竹早高校に卒業生と在校生が一堂に会し、総会そして交流を行う「ホームカミングデー」であります。

今年度も6月21日(日)の開催を目指し、78年卒業生の尽力によって、企画・準備が円滑に行われてまいりました。

しかし、ご承知の通り新型コロナウイルスの影響により、一堂に会し密な交流を行うことを避けるため、この度、「ホームカミングデー」の開催は中止せざるを得ないと判断いたしました。

一方で、事業活動、決算報告、予算内容および理事会の体制など、総会において承認・了解いただかなければなりません。

しかしながら、前述のように総会を開催できる環境ではないため、以下のように理事会開催と広報の仕組みをもって総会の実施に代えさせていただきます。ご理解のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 2020年6月21日(日)理事会開催 ※時間帯、会場等詳細は追ってホームページに掲載させていただきます。
2. 当会報誌同封ハガキにて、皆さまの忌憚ないご意見ご要望をお送りください。当日発表と共有をさせていただきます。
3. 理事会の内容詳細につきましては、7月下旬に箠会ホームページで報告いたします。

2020年4月7日
箠会会長 篠辺 修

第3回 竹早高校ホームカミングデー

ワカタケる 2021

2021年、元気にお会いしましょう ～卒業生みんな集まれ!～

大好評の就活セミナーをはじめ、謎解き校内ウォーク、
じきようじゅつ 自彊術体験、ファゴット演奏会、等が開催されます。

卒業アルバム50年分の展示も予定しています。

卒業アルバムで学校保管のない学年(71・76・82年卒)のアルバムをご寄贈いただける方はご連絡ください。

詳しいプログラム(今後の変更も含む)は専用サイトにてお知らせします。

<https://sites.google.com/view/wakatakeru>

ホームカミングデーは在校生と卒業生、卒業生同士の交流をより深めるために、箠会総会の開催地を母校に変え総会後のイベントと一体化した形で2018年に開始しました。



2020年6月21日(日)に
予定されていた
ホームカミングデーは
延期が決定しました。

2019 年度 簗会 総会 開催

2019年度の簗会総会が、6月23日(日) 12:00～13:00、竹早高校1階会議室で開催されました。

簗会会長 篠辺 修 (ANAホールディングス株式会社特別顧問副会長・1971年卒)

「簗会」のこの一年間の活動のトピックスは、6月23日に開催した「竹早高校ホームカミングデー」(ワカタケル) だったと思います。2018年に続き2回目ですが、「簗会総会」を竹早高校で、卒業生・同窓生の旧交を温め、現役生とも交流できる場として開催しました。今年は、東京府立第二高等女学校としてスタートして以来、現在に至るまで、120周年を数えるところとなりました。節目を迎えますが、引き続き皆様のご協力を頂きながら、大いに努力して参りたいと思います。



若い力を融合し、新しい時代の簗会活動活性化へ

幹事学年である77年卒青山理事の司会のもと、篠辺会長からの挨拶でスタートしました。会長からのお話の内容は、『簗会活動の活性化の一環として、昨年から実施していた若手理事の登用が推し進められ、今回、2010年代卒の理事が9名になろうとしている。若い力とベテラン理事の力がうまく融合することで、Web化など時代の要請に応えていけるものとなる。昨年から始めたホームカミングデーだが、今年は大河ドラマで第二高女がとりあげられるなど、竹早はニュースに満ちている。この勢いを借りて来年度の120周年の催しには、若い力を得た理事会、そして本日の総会出席者からより多くのOBOGの参加を促してほしい』ということでした。

若手理事誕生

会長挨拶後は、議長選出により薩田副会長から、議事に従い報告を行いました。2018年度の事業報告、会計報告、監査報告、2019年度の事業計画、予算案も、問題なく了承となりました。今回のトピックスは、何といっても2016年以降の卒業生から理事が選任されたことで、前述のように、簗会の活動は時代変化の要請に応え、より新しく強力なものとなる予感がします。

(吉田 賢治・1975年卒)



写真左より2017年卒東島理事、2016年卒大森理事。すでに風格に満ち溢れています。

第2回ホームカミングデーのスナップ

総会の後に開催された交流会とイベントには、卒業生133名、在校生91名の参加を得て、昨年度に引き続き、盛況のうちに幕を閉じました。以下、参加者の声をご紹介します。

- 何十年ぶりの吹奏楽の演奏、お点前をいただいたのもよかったです。
- 濱先生、ハーモニカが素晴らしかった。
- 校舎は新しくなっていますが雰囲気は以前と同様落ち着いた感じで懐かしかったです。



特集：さあ、還暦だ！集まれ！遊ぼう！78回生～

78回生はクラスを超えて学年全体の有志で集まりました。

竹早78還暦バースデー会 2019

親の介護、定年後の生活設計、子供たちの将来、自分の健康などの様々な悩みに直面するお年頃。その中で、“還暦を明るく楽しく迎えよう！”“XX月生まれ集まろう！”と、毎月「竹早還暦バースデー会」を開催しました。

“身体を動かそう！”、“一日の締めくくりは楽しく飲んで語らおう！”をコンセプトに企画。仲間と語り合えば、明日への活力をもらえます。



還暦バースデー会	月日	テーマ	企画	夜宴会場所	参加者
4月	4/6 (土)	登る	浅草隅田川クルーズと東京タワー階段上り	新宿	18
5月	6/1 (土)	都会を歩く	丸ノ内線沿線 Walk	池袋	12
6月	6/15 (土)	自然観察	新江ノ島水族館と港南台ホタル観賞	新宿	8
7月	7/20 (土)	鉄道に乗る	青春 18 きっぷで銚子電鉄と犬吠埼	東京	8
8月	8/31 (土)	もんじゃ屋形船	新木場屋形船 浮船丸お台場コース	屋形船	29
9月	9/15 (日)	秋を歩く	東武健康ハイキング：長瀬七草寺巡り	東松山	5
10月	10/5 (土)	手ぶらで BBQ	国営昭和記念公園	立川	13
11月	11/16 (土)	がっつり歩く	銀座線と都電 Walk30 キロ	池袋	14
12月	12/7 (土)	橋を渡る	レインボーブリッジ & ゲートブリッジ	豊洲	15
1月	1/18 (土)	ご利益 get 七福神巡り	川越七福神でご利益 get	川越	17
2月	2/23 (土)	見る	三浦半島みさきまぐろ切符	品川	9
3月	3/28 (土)	遊ぶ	後楽園遊園地とボーリング大会	池袋	延期



竹早テニスの輪

高校時代は山岳部だった M 氏。社会人になってテニスとの出会いがありました。高校時代の仲間とテニスをしたという熱い思いから、「竹早テニスの輪」を発足。毎月1回のペースで2時間、練習と試合に汗を流しています。その後はもちろん飲み会打ち上げ。語らいの場にみんなの笑顔が溢れます。



「120周年おめでとうございます! 78回生は1976~1978ヘタイムトリップ!!」

A組 大らかな自由の中で

通学の服装も髪型も持ち物も自由でした。気乗りのしない授業をサボって、友との語り合いの時間に充てたこともありました。先生方もそんな私たちを厳しく管理することなく「竹早の生徒は決して道を外すようなことはしない」と大らかな心で見守ってくださったように思います。少し上の先輩方が勝ち取った「学園自治」の精神が横溢した空気の中で、ノンボリの私たちは自由を所与のものとして学校生活を満喫していました。時代とともに教育をめぐる様々な社会問題を背景に、学校が窮屈な場になってきているように感じる今日この頃です。先生方からの信頼感に包まれて、自律性を保ちながらのびのびと個性を発揮できた私たちが、一番幸せな高校時代を送れた世代だったのかもしれない。

遠藤（田辺）敦子



1977年竹早祭 マザーグースのへやで



1977年3月



B組 「妖鬼館、覚えていますか？」

3年の時の妖鬼館（お化け屋敷）は、構想から製作、文化祭当日の集客の方法まで、その熱の入れ方は尋常ではなかった。

仕掛けや脅かし方は、後楽園や豊島園のお化け屋敷を下見し、大道具もたまたま我が家に交換する襖があったのでリヤカーを借りて学校から片道7kmを徒歩で往復して運んだ。野田に住んでいた子の近所まで多量のススキを取りに行ったり、棺桶や井戸を作り浴衣を着たお化けを忍ばせたりもした。他にもご紹介できないことが沢山ある。

グランプリを取る気満々だったが、数票差で逃した。あとで聞いてみるとクラスで投票しなかった人が何人もいたのだ。当時も今も必ず笑い話になる、なんともB組らしい顛末である。

大澤（神長）幾子



修学旅行 秋吉台にて

C組 「何でもアリ」のC組にて

入学した私が最初に入った教室は1年C組。おずおずと周りを見渡すと、皆大人びた感じだし、リーゼントの強面もギタリストも雀士も…まさに「何でもアリ」。2年になっても3年になっても、皆いつも何かを探して、何かに向けて動いているクラスでした。汗も恋も涙も憧れも悩みも何もかもが混じった小さな渦ができては壊れ、文化祭でも修学旅行でも球技大会でも誰かが何かを提案し、誰かが何かにトライしていました。遠く富士山を眺めながら朝練⇒早弁⇒爆睡の朝も、文化祭⇒池袋の**で**つぶれた夜も、「何でもアリ」の仲間たちがそこに居ました。今思うことは「人生を教えてください」C組への感謝。微笑とともに3年間私たちを見守ってくださった利根川先生に感謝。そして思い半ばで2年前急逝された島田満さんとともに、「何でもアリ」のC組に乾杯。

佐藤 公



1994年7月17日クラス会



2017年11月13日クラス会：筆者は下段左端

D組

ユニークで楽しいD組

1978年3月卒業のD組は、担任の金子先生の下で、ユニークで楽しいクラスでした。3年生の文化祭では「地獄」という名のお化け屋敷を行いました。入口の鬼の絵は、後に美術大学に進学した生徒の力作で、鬼気迫るものでした。3年生6クラスのうち5クラスがお化け屋敷を行い、どんだけ好きやねん、という感じでした。また、グランドハイツ（現光ヶ丘公園）で何度もクラスでソフトボールをしました。整備されたグランドではなく、所々に草が生えた広場で走りづらく、イレギュラーもよくありましたが、楽しい思い出です。

西 大介



地獄



竹早荘での宿泊クラス会（1980年）



伊豆での宿泊クラス会（1982年）

E組

みんなでいつもワイワイ

我々E組は、2年の時は松本先生、3年では岡先生という二人の担任の先生に教えていただいた、非常に幸運なクラスです。二人の先生方のもと、いつも和気あいあいと楽しいクラスでした。竹早祭では2年の時に「万葉の歌」、3年では「古墳でコーフン」で2年連続の展示部門賞を受賞。男女ともに仲の良いクラスで、高校時代にはよくグランドハイツ（今の光が丘公園）で野球大会をやったり、飛鳥山公園で花見会をしたり。卒業後も頻繁にクラス会を実施し、宿泊でのクラス会も竹早荘と伊豆の合計2回実施しています。最近はクラス会はあまり実施していませんが、還暦を迎え時間にも少しゆとりが出てきたので、また宿泊でのクラス会も実施しようと思っています。

栗林 豊

F組

回顧録

1977年10月25日午後、日本シリーズ第3戦巨人vs阪急於後楽園球場（現東京ドーム）。3年Fルーム46名在籍だが、6、7名姿が見えない。チャイムとともに入室した教諭が教室を見回し『休みはいないな』『はーい』?? そんなはずはないが、空いている机・スペースはない。『長嶋監督の采配、王貞治のHR・巨人の勝利!』見たさに、彼ら（彼女ら）は屋上へ上がる階段の踊り場に自分の机・椅子を運び、授業をエスケープして後楽園球場へ向かった。クラスメイトは、ニヤニヤしながら素知らぬ顔で授業を受けた。3Fはそんなクラスだった。

土橋 勝（藤井）真寿美 夫妻



1977年



2019年

部活動OBOG会紹介



2019年11月30日、古山理事のおひざ元、千代田区外神田の中華料理店で、柔道部OB会が開かれた。私の知る限り、柔道部OBが集まったのは卒業以来二度目となる。一度目は、柔道部顧問の徳永先生（故人・通称徳さん）が自宅でパーティーを開いてくれ、手作り餃子を一人50個ほど平らげたときで、だいたい46年ぶりとなる。この柔道部OB会招集のきっかけは、今期の篁会会報委員である飯塚君が「柔道部でも、やりましょう」といい、私が「誰も来なくても二人で開こう」なんて勝手な発言をしたことによる。二人で開催日と場所をきめ、理事の古山さんをゲストに招いた。

サプライズが三つ。飯塚君が後輩の小野寺君に声をかけ連れてきたこと。彼は東武鉄道の役員になっていた。また、私の同期で総務省官僚となり雲の上の住人だった利根川君が参加したこと。そして三回目OB会を、三月にも開こうと決めたことだ。楽しみで仕方ない。

（廣川州伸・理事・1974年卒）

昨年12月、2015年卒～2017年卒の生徒会3世代メンバー4名と、当時の生徒会顧問の先生2名で生徒会OBOG会を開催しました。高校を卒業して数年が経ちましたが、集まるとすぐに現役の頃の和気藹々とした雰囲気になりました。会わなかった期間を埋めるように近況を報告し合ってから、私達卒業生の将来の話で盛り上がりました。先生方からは、これから進む道を祝福していただいたうえに、悩みや迷いについて高校3年間傍で指導してきてくださったからこそその厳しいながらも愛のあるアドバイスを頂戴しました。私達の高校生時代、熱意をもって全力で受け止め、親身に成長を見守ってくださってきた先生は、卒業してもなお私達の「先生」でした。当時の生徒会の思い出話に花を咲かせつつ、これからの進路・未来について話すことは、懐かしさを感じると同時に大人になった実感も湧く、不思議なひとときでした。貴重な縦の繋がりがある生徒会、今後も世代を超えた集まりを大切にしていきたいです。

（大森美樹・理事 2016年卒）

篁会では、部活動のOBOG会、先生を囲む会、地方で同窓生が集う等世代を超えて交流する活動を支援しています。

ご希望に応じ、名簿情報等可能な範囲で提供いたします。takamurakai@gmail.comまで遠慮なくお問い合わせください。また交流会開催の様子を写真と200字前後の原稿にしてお寄せください。会報に掲載させていただいた交流会には篁会より5000円分の商品券を差し上げます。

竹早1年生対象 2019年度特別セミナー

No

Date

2019年7月18日(木)、竹早高校にて第11回篁会特別セミナーが行われました。

このセミナーは、1年生の進路選択の一助となるように学校と同窓会が力を合わせ企画したもので、竹早高校卒業生が講師となり、現役高校生に向けて、テーマに基づいてお話しをするものです。運営は高校、卒業生、教師と父母の会の相互協力で行われています。

講師陣が語るテーマは、自身の受験や大学生活、社会に出てからの仕事体験など。

本番に先立ち、6月10日には1年生全員にガイダンスが行われました。セミナー当日午後、7クラスある1年生全員に対して、16名の講師が5時限、6時限と、同じテーマで計2講座ずつ、延べ32講座を行いました。各講師の氏名とテーマ等は下記の通りです。

受講された1年生は、入学して3カ月ほどですが、本セミナーを自分の将来を考えるきっかけにして、今後の勉学の参考していただければと願っています。

特別セミナー講師とテーマ(敬称略)

講師	卒業年	理系セミナータイトル
水田 茂夫	1971年卒	留学と海外への就職
吉川 弘道	1971年卒	土木工学が築く日本のインフラストラクチャー
湯浅 良文	1971年卒	香りと味の合成、薬からフレグランス・フレーバーへ
宮沢 和正	1974年卒	ソニーから電子マネー Edy 開発秘話
久我 芳昭	1974年卒	モトリアム理系から医学部へ転進して
佐々木章子	1976年卒	調剤薬局の薬剤師の役割
安永 守利	1977年卒	AI(人工知能)の弱点と未来の職業
矢島 義宏	2002年卒	将来をどう作るか?

講師	卒業年	文系セミナータイトル
福田 圭馬	1993年卒	商社の仕事を通じて、世界と繋がる
柳原みずき	1993年卒	国際社会の架け橋になる
川戸 直美	1974年卒	うちは教育しかのこしてやれない
しゅうさえこ	1975年卒	好きなことを仕事にすること
吉田 賢治	1975年卒	こころが聞こえる耳を持つ
金杉 憲治	1978年卒	公務員・外交官とは
奥山 雅史	1991年卒	映画製作と広告、販促、営業の仕事
飛田 真一	2004年卒	空の仕事で世界とつながる

特別セミナー終了後、受講した講座の内容・感想等、生徒に記入してもらいました。職業についての理解、講師の方々の努力への感謝、喜び等が素直に書かれていました。以下数例をご紹介します。

●「公務員・外交官とは」金杉憲治講師

■情報化やグローバル化が進んだ現代社会の中で、外交官だけでなく私たちがどのような仕事をすべきなのか、できるのかという話がとても印象に残りました。また、家庭をもつ上での仕事の苦勞、特に転勤での娘さんの話は興味深かったです。

■海外での生活で得たものや実際に現地で仕事をしなければ分からないアメリカや韓国・オーストラリアの政治の話が聞けて、外交官という職業に興味を感じました。これからニュースや新聞等で多くの国際問題を知り自分で考えていきたいと思います。

●「将来をどう作るか」矢島義宏講師

■仕事は自分がやりたいこと、自分にできることに加え、「何のために」やるのかを社会に目を向けて考えることが大切だとわかった。

■建築はデザイン・構造だけでなく環境(設備・音響)などもあり、生活や住まいに様々な面で深く関わっていることがわかった。

■今やりたいことは、やっておいたほうが将来何かに役立つことがある。「どこで」「何を」「何のために」やりたいのかをしっかりと考え、それを話せるようにする必要がある。これから少しずつ意識していきたい。

■電車が通る線路を引くことで、線路付近に様々な企業・会社が作られていくことで、人々の生活や町づくりにも関わっていることに驚いた。建築は人々の住まい、町づくりとともに、地球温暖化対策の一環として省エネ住宅普及も目指していて、幅がとても広いなと感じた。仕事は社会的課題を解決していくためにあるものとわかった。

●「調剤薬局の薬剤師の役割」佐々木章子講師

■薬局では薬剤師さんの仕事をまじまじと見ることはなかったので、調剤の流れを知って、薬剤師の仕事を知ることができた。お年寄りのために朝食後や夕食後の薬を一回分でセットして分包するのはわかりやすくいいと思った。普段薬の内容や効果の説明は軽く聞き流していたけれど、自分を安心させるためのものと分かり、きちんと聞かなくてはならないものと感じた。患者さんとの会話も大切だと思った。佐々木さんの試験前の勉強方法が壮絶だと思った。国家資格は大事だとわかった。



しゅうさえこ講師

※なお各講師に生徒の名前を外した感想文を送付しました。素直に自分の言葉で書かれた感想に講師の方々も喜んでくださいました。

(特別セミナー委員会 廣川州伸/川戸直美・1974年卒)

先輩の職場を訪ねて ～竹早1年生対象「人間と社会」の校外授業～

「総合的な学習の時間」の中で進路を考える試みとして企業や教育機関のOBOGを夏休み期間中に訪問する体験授業も3年目を迎えました。

シチズン時計株式会社訪問記

1年G組 池田璃鈴さん

今回、普段は見ることでできない古い時計を拝見し、シチズン時計株式会社さんの長い歴史を感じることができました。

昔は時計を手作業で組み立てていたというお話を聞き、大変驚きました。実際に私も分解の作業を体験させていただいたのですが、部品が細く、とても難しかったです。1つでも部品が足りないと針の速度が正確でなくなったり、動かなくなってしまうりするそうで、その話を聞きさらに緊張してしまいましたが、何とか成功することができました。仕事は責任感を持って、焦らず丁寧にやることが大切だということを強く感じました。

また「多くの人に腕時計をしてほしい」という願いから、日々使いやすく・軽く・丈夫な時計を作れるよう努力されてきたと伺いました。今ではその技術力を生かして、時計以外にも精密な製品を作っていると聞き、大変驚きました。歴史のある会社は長年培ってきた技術をもとに、現在も品質の良いものを作っていることがわかりました。

私はものづくりが好きなので、今回の訪問での経験を参考に、将来やりたい仕事等を見つけていけたらいいなと思っています。今回このような貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。



東京大学農学部を訪問して

1年F組 田中千蓮さん

僕は今回の体験で東大農学部の方々からお話をお伺いしたり、研究室の見学を通じて、大学ではどのような勉強するのか知ることができました。

これまで大学では「自分の専門分野しか学べない」というイメージを持っていたのですが、自由選択では外国語や体育の授業を受けられると聞いて、とても驚きました。大学にも高校とあまり変わらないところもあるとわかりました。また研究室を見学した際には、農学部の方々が静かな環境の中で真剣に研究に取り組んでいる姿を間近で拝見することができました。

この体験で大学についてより深く知ることができ、また将来のことを考える参考にもなりました。東京大学農学部に行くことができて本当によかったです。今回このような機会を設けていただき、ありがとうございました。



その他の訪問先

2019年度「人間と社会」OBOG訪問の協力企業・機関と卒業生

8/27 (火) 全日本空輸羽田機体工場	篠辺会長 (1971 年卒)
8/5 (月) JR 東日本研究開発センター安全研究所 (大宮)	古山理事 (1964 年卒)
8/9 (金) JR 東日本東京新幹線車両センター (田端)	同上
7/31 (水) キリンビール株式会社横浜工場	西村様 (キリンホールディングス副社長 / 1975 年卒)
8/19 (月) シチズン時計東京事務所 (田無)	竹内様 (シチズン時計常務 / 1977 年卒)
8/21 (水) 東京大学大学院農学生命科学研究科水圏天然物化学研究室 (本郷)	松永理事 (1975 年卒)

酷暑の折後輩のためにご尽力いただき誠にありがとうございました。

第13回 篁寿会取材記

今回も集い、弾ける笑顔で華やぎました。

高女時代入学の大先輩たちは、41 回生の松本紀子さん（元会長）を筆頭に、35 名の方が昨年 10 月5日（土）学士会館に集いました。奥野千恵子さん（高女 45 回生）の乾杯ご発声で、皆さん華やいでスタートしました。

磨きがかかる笑顔、優しさ、活気

私は一昨年来取材をしています、毎回驚くのは年毎に笑顔と優しい表情、そして生き活きとした会話に磨きがかかっていること。とにかくエネルギーがすごいです。

継続は若さなり

とくに 90 歳前後の方にお聞きしたところ、何と3人にお2人くらいが万歩計を持たれていました。ウォーキングは毎日続けるという方、合唱を何十年も続けられていて、今日もその帰りでであるという方、そして更に驚いたのは、お医者様を辞められてから鍼灸のお仕事をはじめ今も現役で活躍されているという方。まさに継続は若さなりであると思いました。

大先輩方、どうぞ来年もまた是非お話を聞かせてください。

今年の篁寿会は 10 月 31 日（土）学士会館で開催いたします。



ホームページにて特別シリーズ 「高女卒業生訪問記」展開中

高女卒の大先輩を個別に訪問取材したレポートです。

第1回 45回生 水原康子さん

第2回 41回生 松本紀子さん

第2回シニア会開催



2019年9月28日に、学士会館で第2回の集まりを行いました。篁55回から71回まで、総勢39人が集い、楽しいひと時を過ごしました。

第3回のご案内

対 象：72回生まで

日 時：2020年9月26日（土）12：00開宴
（受付は11：30から）

会 場：前回と同じ「学士会館」

会 費：7,000円（当日会場でお支払いください）

お申込：8月末までに同封のはがきか下記へメールで。
takamurasenior@gmail.com

ご意見ご質問もこちらへメールでお願いいたします。

※抽選会のほか、古稀、喜寿、傘寿などのお祝い年該当の出席者には記念品を贈る計画もあります。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

（佐藤美紗子・1964年卒）

東京校歌祭

10月27日、杉並公会堂にて開催された第27回東京校歌祭に、卒業生で出演しました。3回目の参加となった今回は、府立第二高女・竹早高校の校歌に加え、「紅葉」の輪唱も披露しました。練習のときから皆さん積極的に生き活きと歌い、本番では大きなホールに怖じ気づくどころか一層伸びやかな歌声を響かせました。今年は在校生の出演は叶わなかったものの、幅広い年齢層の卒業生が参加し、有意義な舞台となりました。この場をお借りして、この校歌祭成功に貢献してくださった皆さま

に御礼申し上げます。（宮岡あや野・2019年卒）



次回は、10月25日（日）杉並公会堂大ホール

21 世紀の風を感じて

～竹早祭お休み処レポート～

猛暑に負けない青春の熱気あふれる校舎のなか、メイドカフェスタイルの男子グループの呼び込みに出会った。秋葉原から直行?と思うほどあまりに似合いすぎているので、一瞬、思考回路が混乱。恒例のミス / ミスター竹早の人気投票も姿を消している。LGBT に配慮した決定と聞いたが、人の心の痛みに寄り添って考え、行動できる後輩たちが誇らしく思え、21 世紀の爽風が吹いた気がした。

簗会の「お休み処」も様変わり。前日の準備段階から大学生理事を中心にサポーターが続々集まり「何でもやります!」とフットワークも軽い。暑い廊下に何度も飛び出しては呼び込みをしてくれる姿には、本当に頭が下がった。実際に初めて「お休み処」を手伝ってみた感想や意見などを聞いてみると、「また文化祭気分を味わえてよかった。もっと現役の高校生たちに来てもらって簗会（同窓会）の活動を知ってもらえたら良かったと思う」（仁科さん、2017 年卒）、「中学生には、飲み物を渡すと同時に応援したい気持ちになった。2 日間、とても明るい気持ちで過ごすことが出来て良かった」（向田さん、2016 年卒）、「お休み処は憩いの場として、すごくありがたかった。1、2 年生のときは簗会と言われてもあんまりピンと来なかった。教育基金募金の声掛けが足りないかなと思った」（白井さん、2017 年卒）「募金箱に入れやすいよう、最初に少しお札をいれておくとうかったかも」（玉真さん、2015 年



卒）などの声がかえってきた。さらに「もっと簗会の出店であることをアピールして、現役生に活動を知ってもらおうと良い」「教室内に複数の募金箱を置いたり、人員を割いて竹早祭受付などにも募金窓口を作るなど、募金箱を目にする機会を増やす」「廊下側のロッカー一面に大きく『フリードリンク』と書く」など具体的な提案を出してくれた。来年はもっとパワーアップが期待できそうだ。

今年は、教室外に立てかけられた「いだてん」金栗先生の等身大パネル前で写真を撮る人も多く、大盛況。ドリンクの買い足しも追い付かず、ついに時間前に満員御礼。入場者数のべ 1,350 名、教育基金への募金は 17,865 円でした。あわせて深謝申し上げます。（山口順子・1976 年卒）

＊今年の竹早祭は 9 月 5 日（土）6 日（日）開催予定です。竹早塾（卒業生による在校生への学習支援組織）と合同開催となります。どうぞお出かけください。



湘南簗会だより

令和元年 5 月 14 日、鎌倉プリンスホテルにて総会・懇親会を行った。本年は、篠辺会長に加え、古関前会長、松本元会長と御三方のご出席があった。懇親会では、松本様から朝鮮への修学旅行等在学時代の思い出、篠辺様から全日空での出来事、古関様から現在進行中の海水を利用したエネルギー開発の話、浅川様から七里ガ浜に住まわれた当時の話、それに田中様からはドナルド・キーンのエッセイについての話と、話題は尽きなかった。

（影本昌則・1954 年卒）



六竹会だより

令和元年 6 月 6 日、我が「六竹会」の卒業 65 周年記念会を、都内の「如水会館」で行った。この「六竹会」との名称は、私共が高校卒業第 6 回生であることから名付けたもので、その開催日を毎年 6 月 6 日とし、卒業以来、この日に集まっている。ただ、卒業当時 200 名程いた校友も年々減少し、現在連絡のとれる方は僅か 50 名弱となっている。しかしそれでも、今年も、当日 29 名の方々が元気な姿を見せてくれた。

私共の世代は小学校時代が戦時中であったことから、皆それぞれ、空襲、疎開、引揚げ等の苦しい体験を持ち、それ故ほぼ同じ価値観を有しているためか話題に欠くことなく、いつも楽しく皆で語り合っている。さらに本年は、NHK 大河ドラマ「いだてん」で母校がとり上げられたことも話題となった。最後に、例年通り校歌を皆で合唱し、来年の再会を約して別れた。（影本昌則・1954 年卒）



篁会教育基金・奨学生認証式

篁会では毎年、在校生への奨学金授与を行っており、今年で8回目をむかえます。学内選考により選ばれた生徒4名の認証式は2019年7月18日に行われました。

八重樫陸さん◆竹早高校では、様々な先生が現代の社会問題に絡めて教科指導をしています。こうした授業を通じ、私は自分なりにどうしたらそのような問題を解決することに貢献できるかを考えることができました。私は今、理学の道へ進むことを考えています。自分がやりがいを感じる、好きなことをあらためて見直して、それを社会の利益として還元できるような研究をしたいと思います。そしてそのことを通じて今までにお世話になった家族、先生など様々な方への感謝を自分なりにすることを目標としています。その実現に向けてこれからも邁進していこうと思います。

平藤まなやさん◆私は医療技術系の大学に進学し、資格取得に向けて勉学に励みたいと考えています。その一方で教職への道も捨てきれず、これから進路が変わる可能性も高いです。どの道を進んでも困らないよう、体育祭や文化祭の準備で鍛えられた精神力を生かして、今できる精一杯の努力をしようと思います。

富田萌夏さん◆私は大学に進学し、建築学について学びたいと思っています。将来就きたい具体的な職業はまだ決まっていますが、竹早高校で学んだことを大学で学ぶ

知識に繋げ、知識と想像力を最大限に活かして「誰かの笑顔を作る」そんな仕事がしたいと思っています。

米山朋花さん◆私は高校で多くの人とともに1つのことをやり遂げる達成感や、努力する人の近くで応援する喜びを学びました。生徒主体の行事や部活動の運営に関わるなかで、表に出る人だけでなく見えないところで支えている人がいて成り立っていることを知りました。そして自分のためだけでなく、誰かのために何かをしたいと思うようになりました。具体的なことは決まっていますが、大学でさらに多くのことを学び、一人でも多くの人の役に立つことをしたいです。



竹早高校図書館の活躍が評判です！

■「平成31年度子供の読書活動優秀実践校」～文部科学大臣から表彰

「子ども読書の日」である2019年4月23日に「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、表彰状の授与式がありました。校内でのビブリオバトル（1・2年生全員参加の書評合戦）の実施や、図書委員会の通年の取組（各種イベントや刊行物の発行等）が評価されました。またビブリオバトル東京都大会では2年渡辺碧さんが決勝まで勝ち上がり、東京都ベスト7入りし、昨年度のベスト16よりさらに躍進しました。

☆生徒の声☆

竹早高校の図書館は、本を平積みにして表紙を見やすくするなど、親しみやすくしています。図書委員のアイデアで、ビブリオバトルでは先生方のミニトークを取り入れたり、学級文庫のコーナーでは、様々なテーマを設定し、生徒の通りに合わせて配置するなどの工夫をしてみました。これからも取組を継続させて、今まで以上に図書館に来る人が増えるようにしたいと思います。（平成30年度図書委員長 山野 日向子）



2019年度大学合格状況

国公立大学 71名（東工大3、お茶の水女子大1、北大1、九大1、筑波大2、都立大6）

私立大学 268名（主要10校）、私学の主な内訳：早稲田39名、慶応11名、上智12名、東京理科21名、明治51名、青山22名、立教36名、中央24名、法政39名、学習院13名）

*詳しくは5月以降、竹早高校のホームページ（www.takehaya-h.metro.tokyo.jp）>卒業後の進路>進路データ>大学合格状況）をご覧ください

理事会報告

2019年度の理事会活動は以下のとおりです。

●第1回理事会 6月5日 出席者 20名、委任状7名

- 承認事項
 - 竹早祭「お休み処」出店の件
 - 新理事推薦・承認の件（第116回生向田慶介氏、第119回生宮岡あや野氏・草野竜哉氏・小林雅人氏・松岡舞氏）
- 報告事項
 - 総会・ホームカミングデーについて詳細の説明と確認
 - 理事会準備
 - 特別セミナー準備の進捗状況説明
 - 夏休み中の「人間と社会」企画についての説明
 - 教育基金・奨学金授与についての報告
 - 広報委員会より会報発行の報告・新しいメディア活用について
 - 篁会役員担務と任期について

●第2回理事会 8月7日 出席者 14名、委任状9名

- 承認事項
 - 次回の総会・ホームカミングデーの準備開始の件
- 報告・審議事項
 - 総会・ホームカミングデーの報告と反省
 - 特別セミナーと「人間と社会」実施報告
 - 教育基金・奨学金授与の報告
 - 次号会報誌について
 - WEBサイトについて
 - 竹早祭「お休み処」準備進捗状況

●第3回理事会 10月3日出席者 14名、委任状9名

- 承認事項
 - 特別セミナー受講者アンケートを直接セミナー講師へフィードバックする件
- 報告・審議事項
 - 「人間と社会」に関するまとめと報告
 - 竹早祭「お休み処」出店報告
 - 「東京校歌祭」の詳細説明
 - 「ろーにん活用術」企画の説明

●第4回理事会 1月18日 出席者 21名、委任状6名

- 承認事項
 - 2020年度予算案について
 - 浪人生支援企画の後援について
 - 新理事推薦・承認の件（第69回生 松丸直樹氏）
- 報告・審議事項
 - ホームカミングデー企画進捗状況報告
 - 活性化委員会より「学年代表幹事交流会」についての詳細説明
 - 会報編集委員会より会報編集進捗状況報告
 - 広報委員会活動報告

●第5回理事会

3月27日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため中止。メール上で承認。

- 承認事項
 - 監査報告をうけて2019年度決算・2020年度予算案の承認の件
 - 会報に同封する「特別寄付のお願い」文面の件

<その他>

- 4月9日 竹早高等学校入学式に参列
- 6月23日 篁会総会・竹早高校ホームカミングデー「ワカタケル」開催
- 7月18日 特別セミナー開催
- 7月18日 奨学生認証式
- 7月～8月 「人間と社会」校外授業企画
- 9月7、8日 竹早祭「お休み処」出店
- 9月28日 シニア会開催
- 10月5日 篁寿会開催
- 10月27日 東京校歌祭「校歌を歌い継ぐ会」出演
- 1月18日 篁会・竹早高校・父母と教師の会 合同新年会開催
- 3月27日 会計監査

篁会 2019年度収支決算(案)

2019年4月1日より2020年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	19,190,299	奨学金(特別会計から)	200,000
(特別会計繰越金)	14,522,513	教育援助金(特別会計から)	100,000
(特別会計除)	4,667,786	贈呈記念品費(1,3年)	233,544
入会金(新入会員)	1,880,000	篁会特別セミナー(1年)	147,164
年会費(クレなし)	2,003,000	会報発行費	2,490,863
年会費(クレ)	204,576	竹早祭出店	39,090
受取利息	23	篁寿会	65,779
		校歌祭	50,000
計	4,087,599	学年幹事連絡会	0
※周年行事寄付金(年会費計上16000円)		新卒学年幹事交流会(新規)	0
		活性化プロジェクト(特別会計から)	0
		総会開催関係費	223,647
		総務費	55,898
雑収入	71,865	Webサイト運営保守	666,400
特別会計へ	71,865	Web・HP管理費	162,000
		120周年行事補助金※	0
		小計(含特別会計分)	4,434,385
		特別会計小計	300,000
小 計	4,159,464	次年度繰越金	18,915,378
合 計	23,349,763	合 計	23,349,763

※総会時に振込用紙配布

※周年行事在校生御祝品(2020.11月)

特別会計			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	14,522,513	教育基金:奨学金(3年)	200,000
定期預金	12,000,000	教育基金:教育援助金(全学年)	100,000
周年事業基金	1,628,994	活性化プロジェクト(特別会計から)	0
高女記念碑基金	243,600	小 計	300,000
教育基金	649,919		
教育基金繰入金(雑収入)	71,865	次年度繰越	14,294,378
基金合計	14,594,378	基金合計	14,594,378

篁会 2020年度収支予算(案)

2019年4月1日より2020年3月31日まで (単位:円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	18,915,378	奨学金(特別会計から)	300,000
(特別会計を含む)		教育援助金(特別会計から)	100,000
入会金(新入会員)	1,900,000	贈呈記念品費(1年・3年)	240,000
年会費	2,600,000	篁会特別セミナー(1年)	150,000
受取利息	20	会報発行費	2,500,000
雑収入	100,000	竹早祭出店	50,000
		篁寿会	100,000
		学年幹事連絡会	10,000
		校歌祭	60,000
		新卒学年幹事交流会	150,000
		活性化プロジェクト	50,000
		総会開催関係費	300,000
		総務費	150,000
		Webサイト運営保守	670,000
		Web・HP管理費	200,000
小 計	4,600,020	小計(除:特別会計分)	4,580,000
		特別会計小計	450,000
		予備費	4,595,520
		前年度特別会計繰越金	14,294,378
合 計	23,515,398	合 計	23,515,398

特別会計			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
定期預金	12,000,000	活性化プロジェクト補助金	50,000
周年事業基金	1,628,994	奨学金(3年)	300,000
高女記念碑基金	243,600	教育援助金(全学年)	100,000
教育基金	421,784	小 計	450,000
基金合計	14,294,378	基金合計	14,294,378

注1:収入の総会費・篁寿会会計は基本別会計の為なくし、補助金支出とした

注2:周年行事寄付金はチラシ及びネットによる受付で募集を行い、特別会計に計上する

創立120周年を迎えて 校長 小林正基

1900年(明治33年)に東京府立第二高等女学校として創立した本校は、本年11月に120周年を迎えます。都立高校において120周年を迎えた学校は過去に4校しかありません。この120年の歴史の中に、2万2千人に及ぶすべての卒業生・在校生の学校生活があり、その思い出とともに温かく見守ってくださる簗会の皆様の中に、今の竹早高校があります。改めて本校の歴史の重さを感じます。

大学入試制度や学習指導要領が変わり、学びのあり方が変わる中、本年度教育目標の改定を行いました。明治、大正、昭和、平成、そして令和と、時代が変わりゆく中で本校が成長してきたのは、自主自律の精神と、校歌にうたわれる「眞実一路」「清新澁漑」「協同親和」を具現化するという教育方針が根幹にあったからだと考えます。改めてここに立ち返り、未来に向けて、生徒を「まっすぐ高くしなやかに伸ばす」学校であり続けるようこれからも全力で取り組んでまいります。



簗会の皆様におかれましても、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。 生徒会役員と打ち合わせをする小林校長

120周年記念

竹早高校は、2020年、創立120周年を迎えます。

周年事業については、11月6日に竹早高校体育館で開催し、講演会、記念誌の発行を予定しています。詳しくは竹早高校サイト、簗会サイトでお知らせします。



会費納入のお願い

簗会では、在校生の学びの支援活動や、在校生と卒業生および卒業生同士の親睦支援、次頁のWeb化推進など、活動の改善充実を推進して参ります。そのためにも、会費納入を是非ともお願い申し上げます。

- ・会費は一口1,000円で二口・2,000円以上の入金をお願い申し上げます。
- ・本誌同封の振込用紙または、次ページ記載のWeb同窓会システムにて入金できます。
- ・卒業年から4年間は会費納入の必要はございません。(2020年度は、17年度卒、18年度卒、19年度卒、20年度卒の方が納入不要です)

新人に力あれ

■新卒・120回生幹事交流会を開催予定

昨年度から『新学年幹事交流会』を開始しました。この会は2020年3月に卒業した120回生、各クラスの同窓会幹事12名と交流を深めるための会です。今年度は、時期は未定ながら開催する方向で、活性化委員会で企画を進めています。

(堤谷美柚・2018年卒)



昨年度幹事交流会のようす

■簗会から「浪人を助ける会 (= ERG ~ Escort Runner Group ~)」が発足しました。



今後、浪人を経験した卒業生メンバーが色々な支援策を発信いたします。第一弾として、浪人生活の全貌が掴めるオリジナル小冊子『ろ〜にん虎の巻』を差し上げます。ご希望の方はこちらのメールアドレスにお申込みください。

takamuraerg@gmail.com 畠山大至さん(2018年卒)まで

ご存じですか？ 篁会広報・Web 活動、日増しに充実しています

篁会の広報活動は、若手理事たちの積極的な協力のもと、広報委員会全員がWeb化を推進。その結果、数多くの会員の方々から反響をいただいています。まだご覧になっていない方はこれを機会に是非アクセスしてください。

■新ホームページの特徴

手作りの特別サイトとInstagramで効果を倍増。訪問者数、ページビュー数も好調に伸びています。

昨年3月にオープンした新しい篁会ホームページ。訪問者数は最高時の6月に約 1,700 人、ページビューは約 3,700 を獲得しています。

とくに「トピックス」や「主要活動」欄に案内した催しは、タイムリーにより多くの方々にご覧いただくことができています。

■特別企画を始めました

日本初のパズル小説家・廣川理事の、謎解きクロス「快答ルパン」。昨年8月より特別サイトオープン、ホームページからアクセスできます。

篁寿会特別企画「高女卒業生訪問記」を昨年 12 月より、ホームページで掲載スタートいたしました。

■Instagram、若手理事が積極的に企画・発信しています。

今、最も発信力が高いInstagramに、催しのたびに若手理事が独自に取材して発信しています。2019 年末で 220 のフォロワーを獲得しています。



PCのトップ画面 ホームページは、スマホにも対応しています。会報誌バックナンバーを簡単に見ることができる他、篁会オリジナルグッズも購入できます。

■ 篁会年会費のクレジット決済



年会費は 2 口（2000 円）以上となります。2 口以上の口数をご入力ください。
※なお、クレジット決済の手数料は篁会が負担します。（会報と同封の郵便振替用紙でご入金いただく場合は手数料がかかります）

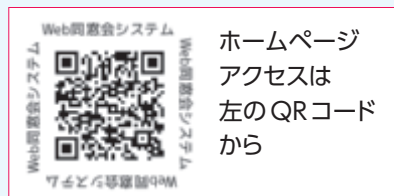
■ご注意ください

※名簿情報は、会員限定の公開を前提としております。非公開とされたい方は、ご自身で同窓会システムに入り、訂正等手続きをお願い致します。

■「Web 同窓会システム」の使い方

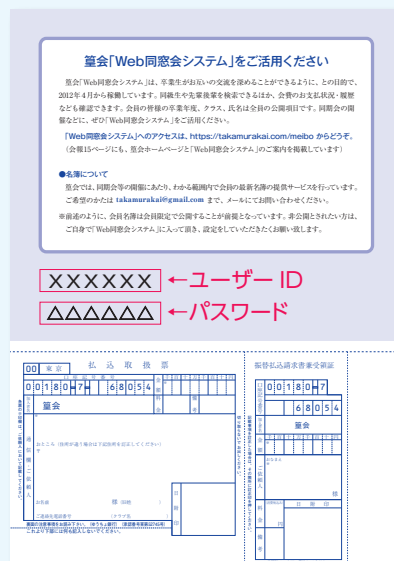


「Web 同窓会システム」では、ご自身の会員情報や、同級生、先輩後輩の検索、会員のお支払い履歴の確認等ができます。ユーザー ID とパスワードについて右の欄をご一読の上、是非一度ログインしてみてください。



ホームページ
アクセスは
左の QR コード
から

■ログインIDとパスワード記載箇所



ログインに必要なユーザー ID とパスワードは、同封の振込用紙の上段、図の位置に記載されています。

訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

【卒年】姓(旧姓)名(クラス) 逝去年月日・敬称略

■教員

芝崎茂夫 2019.11.28 / 山田徳三 2019.9.13 / 晴山文男 2019.1.30 / 加藤宣夫 2017.9.24 / 大和昭浩 2016.3.26

■高女・専攻科

【1940 年卒】湯川(平山)治 2019.3.16 / 小畑(小畑)勢津 2018.9.24 【1942 年卒】五十川(室)順子 2017.5.23 【1943 年卒】城戸崎(森田)愛 2020.2.13 【1945 年卒】四元トシ 2019.5.14 【1948 年卒】小路(弓能家)和江 2019.8.3

■高校

【1950 年卒】金子浩子 2019.7.1 【1951 年卒】菊地(戸村)道子 2019.6.3 / 高山富士子 2019.9.28 【1952 年卒】中村公子 2018.10.6 【1959 年卒】割石公一郎 2018.5.22 【1960 年卒】城尾(魚見)時代 2010.10.12 / 萩原(広瀬)迪子 2018 / 竹島(五十里)洋子 2018.11.2 【1961 年卒】栗原(岡本)和興 2019.9.4 【1964 年卒】杉江(岡本)一内 2018.12 【1967 年卒】相場秀子 2019.4 【1968 年卒】杉村(藤田)みどり 2008.8.16 【1972 年卒】石黒洋子 2018.12 【1990 年卒】上坂武史 2016.2

特別寄付のお願い

明治33年(1900年)に府立第二高女として創立されてから、明治、大正、昭和、平成、そして令和の星霜を重ね、竹早高校は120周年を迎えることとなりました。

篁会では、現校舎が、新設後25年を経過するなか、いま活動する現役生のニーズに直結する学習環境の支援のための記念事業として、「パワーアップトイレ環境」を提供することとしました。最近ますます健康衛生環境の強化が求められているところですが、教育予算の割り当ても少なく、今日に至っております。そのため、この節目の機会に、カビや細菌をよせつけないガラスコーティングを施した、美しいトイレ環境の提供を、寄付行為として行うというものです。

一口1000円として、二口以上を同封の会費用振込用紙通信欄にお書き添えのうえ、お振込みいただきます。ホームページからのクレジットカード払いも可能です。(p.15をご参照ください)

なお、ご寄付いただいた方のお名前は、竹早高校1階の学校史コーナーに掲示させていただく予定です。卒業生の皆様の特別寄付によって、21世紀にふさわしい衛生環境提供に、ぜひともご協力いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

篁会役員

〈2020年3月現在〉

会長	篠辺 修	1971年卒	理事	姫野 賢治	1974年卒	理事	大森 美樹	2016年卒
名誉会長	小林 正基	竹早高校校長	理事	廣川 州伸	1974年卒	理事	向田 慶介	2016年卒
顧問	松本 紀子	1941年卒	理事	三野 直子	1974年卒	理事	東島 粹生	2017年卒
顧問	星野 昌子	1950年卒	理事	宮沢 和正	1974年卒	理事	仁科 広貴	2017年卒
顧問	古関 恵一	1977年卒	理事	遠藤 和彦	1975年卒	理事	堤谷 美柚	2018年卒
副会長	中村 光宏	1971年卒	理事	堀 啓二	1975年卒	理事	草野 竜哉	2019年卒
副会長	高倉 孝生	1971年卒	理事	助川 裕爾	1975年卒	理事	小林 雅人	2019年卒
副会長	薩田須美子	1972年卒	理事	田村 浩之	1975年卒	理事	松岡 舞	2019年卒
理事	古山浩之助	1964年卒	理事	松永 茂樹	1975年卒	理事	宮岡あや野	2019年卒
理事	高橋 政行	1973年卒	理事	吉田 賢治	1975年卒	監事	佐藤美紗子	1964年卒
理事	花澤 聖子	1973年卒	理事	佐々木章子	1976年卒	監事	岩井 良輔	1976年卒
理事	大貫 祥子	1974年卒	理事	青山 俊也	1977年卒			
理事	川戸 直美	1974年卒	理事	戸次 聡史	1982年卒			

アドバイザー

吉岡 新	1969年卒
香川 洋子	1968年卒
岩野 英子	1968年卒
松澤由利子	1970年卒
水田 茂夫	1971年卒
山口 順子	1976年卒

広報委員会

〈2020年3月現在・数字は卒年〉※編集長

高倉 孝生	1971年卒	杉渕 明子	1978年卒
薩田須美子	1972年卒	栗林 豊	1978年卒
宮沢 和正	1974年卒	奥 文夫	1978年卒
三野 直子	1974年卒	大森 美樹	2016年卒
大貫 祥子	1974年卒	向田 慶介	2016年卒
廣川 州伸	1974年卒	東島 粹生	2017年卒
吉田 賢治	1975年卒	仁科 広貴	2017年卒
田村 浩之	1975年卒	堤谷 美柚	2018年卒
小林 永治	1976年卒	草野 竜哉	2019年卒
佐々木章子	1976年卒	小林 雅人	2019年卒
山口 順子	1976年卒	松岡 舞	2019年卒
青山 俊也*	1977年卒	宮岡あや野	2019年卒
飯塚 均	1977年卒		

篁会報

発行日
発行



2020年4月26日
篁会
〒112-0002
東京都文京区小石川4-2-1
東京都立竹早高等学校内
Eメール takamurakai@gmail.com
https://www.takamura-kai.com
篁会 広報委員会
共立速記印刷株式会社
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋3-11-24

編集
印刷

